

編集

三好市役所総務部秘書人事課

〒778-8501

徳島県三好市池田町シンマチ

1500番地2

☎0883-72-7646

koho@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

<http://www.city-miyoshi.jp/>



QRコードからアクセス

□ 編集後記

今号の探訪は池田高校に残る「石鍬」。阿波の青石を使い弥生時代に懸命に生きた先人の歴史。石は石でもさにあらず。そんな宝物を「探す」「見つける」「出会う」ことができれば最高です。上杉鷹山の「為せば成る為さねば成らぬ何事も成らぬは人の為さぬなりけり」という言葉。自身の生活に当てはめるとたくさんあって、今年も酉年のごとく大きく羽ばたきたいところですが、取り組んだことを継続しながら新たなチャレンジに向える年にしたいと思います（近）

新年おめでとうございます。今年も酉年、私は年女です（年がバレますね）。三好に来て3度目の年末年始。初めて三好市で年を越しました。これといって正月らしいことはしていませんが、落合集落や小便小僧やひの字溪谷を回ると、正月早々観光客がたくさん訪れていて、改めて観光地三好を実感しました。今年にはさらにジオパークやラフティング世界大会など、楽しい話題が目白押しの三好市。酉年だけに大いに飛躍の年となりそうです（肴）

三好市探訪



130
歩目



池田高校に残る考古資料

いしぐわ 石鍬

— 三好市池田町ウエノ —

池田高等学校の桜陵会館3階資料室には、「全国高等学校考古名品展2016」として九州国立博物館に展示された歴史ロマン溢れる考古資料が所蔵されています。

中でも弥生時代後期のもと考えられている「石鍬」は、池田高等学校の前身である旧制池田中学校建設に伴い1922年（大正11）に出土したもので、徳島城の石垣にも使われている阿波の青石で作られた鍬です。鍬は土起こしなどに使うもので、実際に使用した形跡として、刃先が磨滅してやや平滑になっています。両側辺の中ほどと上の方に^{えぐ}抉りがあり、計4か所のくぼみが確認できます。これは木の柄とこの石鍬とを縄紐で結びつけるために人工的につけた抉りと考えられています。

また、資料室には、ユーラシア大陸から伝わったとされる三脚土器をはじめ、数多くの土器が展示されているほか、夏春甲子園を連覇した葛文也監督や池田高校野球部の活躍に関わる貴重な高校の歴史などが展示されています。事務室に申し出ると見学することもできますので、ぜひ一度池田町に眠る古代の歴史に触れてみては。